

# 核データ専門部会核データ検索システムW. G.

## 46年度第3回会合議事録

日 時 昭和46年12月21日(火) 13時45分～17時30分

場 所 日本原子力研究所東海研究所セミナー室

出席者 五十嵐信一(原研), 加藤和明(高エネルギー研), 金森善彦(原研), 川合将義(NAIG), 神田幸則(九大), 中川庸雄(原研), 西村和明(原研), 八谷雅典(三井造船), 更田豊治郎(原研), 松岡謙一(日立), 山越寿夫(船研)

### 議 事

#### 1. シグマ委員会本委員会に関する報告

12月10日に本委員会が開かれ,そこで,前回の当W. G. の結論を報告した。当W. G. に関連する問題としては JENDL (Japanese Evaluated Nuclear Data Library) の第0次版についての討論があった。

#### 2. NESTORについて

##### 2-1 現状

(イ) ENDF/B-IIのデータと, NESTORの数値データを合わせて一枚のグラフの上にプロットするプログラムをIBMで作成中である。

(山越)

(ロ) NESTOR自体の現状について報告された。(中川)

(ハ) KEDAK, UKNDLのプロットについて報告された。両者ともマニュアルを読んでいる段階である。(五十嵐, 金森)

##### 2-2 JENDLとの関係

NESTORとJENDLとの関係が議論された。

### 3. COMFORDについて

#### 3-1 現状

COMFORDは共鳴データを格納検策するプログラムと、格納された共鳴データを使って統計処理計算をするプログラムとに分かれている。両方とも FACOM 230-60 で使用可能である。(中川)

### 4. 作業計画の検討

4-1 評価済みデータファイルのデータを NESTOR に入れる作業  
これについては前回会合で計画が変更された。

すなわち、評価済みデータファイルのデータを NESTOR に入れる事はしないで、NESTOR と評価済みデータファイルのデータをそのままのフォーマットで一緒に扱うシステムを考える。手始めに NESTOR のデータと、ENDF/B-II のデータを同時にプロットするプログラムを作成する。

#### 4-2 異なるファイルの比較

とりあえず Fe, Ni, <sup>239</sup>Pu, <sup>235</sup>U のプロットを整える。

#### 4-3 他の W. G のデータ格納

NEUDADA から NESTOR にデータを入れている現状では、NEUDADA のデータが完全に重要な文献を網羅していない為、他の W. G で集めたデータも入れていくべきである。

これは 4-2 とも関連し、かなり重要と思われる。そのための作業として、

- 1) シートに書かれたデータは核データ研で、NESTOR に入れる。
- 2) シートのフォーマットは五十嵐委員 その他 が案を作り検討し、当 W. G より他の W. G へ提案する。

事を決定した。

中川委員

体裁

#### 4-4 COMFORD

1) NESTORとCOMFORD間のFormat変換用プログラムを作成する。

2) COMFORDの活用

a, Symbolic commentの整備

b, BNL-325のデータを入れる。

c, Strength functionの計算をする。

d, 計算の種類を拡張する。

e, 異なるデータ間の共鳴のidentification.

などが考えられる。

#### 4-5 システムの整備・開発

4-4と4-5は時間切れの為、次回に検討を持越すこととした。

#### 5. 次回

2月中旬とする。